

青山シンフォニーオーケストラ

第27回 定期演奏会 Aoyama Symphony Orchestra

[曲目]

BEETHOVEN

ベートーヴェン / 交響曲第6番「田園」

BARTÓK

バルトーク / 管弦楽のための協奏曲

[指揮] 汐澤 安彦 Yasuhiko Shiozawa

[日時] 2014年4月29日(火・祝) 14:00開演 (13:00開場)

[会場] 東京芸術劇場 コンサートホール

■チケット S/2,000円 A/1,500円 B/1,000円

■チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード 218-205)

■お問い合わせ 045-713-3478 (石田)

■ホームページ <http://www.aoyama-symphony.com/>

曲目紹介

ベートーヴェン

交響曲第6番 ヘ長調 作品68「田園」

この曲の標題である“田園”はベートーヴェン自身が付け、更に5楽章からなる各楽章にも自身が標題を付けて内容を暗示しました。

- 1 楽章… 田舎に着いた時の愉快的な感情の目ざめ
- 2 楽章… 小川のほとりの光景
- 3 楽章… 田舎の人々の楽しいつどい
- 4 楽章… 雷雨、あらし
- 5 楽章… 牧人の歌—あらしの後の喜びと感謝の感情

重厚な印象を持つ交響曲第5番「運命」とは想像も付かない程に全体が穏やかに流れ、美しい田園風景を心行くまで感じさせてくれます。自然への憧れと感謝の気持ちから生まれたこの曲を、ベートーヴェンは「絵画というよりは、むしろ感情の表現である」と云ったそうです。

4 楽章の“あらし”へは3 楽章から切れ目なく入り、また、あらしが去った後の喜びと感謝の5 楽章へも切れ目なく自然に移行されます。この曲からはベートーヴェンの素直な心の流れを汲み取ることが出来ます。

バルトーク

管弦楽のための協奏曲

独奏楽器の活躍が見事で、色彩的にも華やかな5楽章からなる作品です。各楽章に標題が付けられています。

- 1 楽章… 導入部 (序章)
- 2 楽章… 対の遊び
- 3 楽章… 悲歌 (エレジー)
- 4 楽章… 中断された間奏曲
- 5 楽章… 終曲

近代絵画を見る様な不思議な感覚の標題で、バルトークは「各々の楽器を協奏的および独奏的に使ったために、この様な題名にした」と云っています。工夫を凝らした曲想は聴くほどに想いが伝わって来ます。ハンガリーの作曲家ですが、頑固で潔癖、無愛想で控えめな性格が世に出る障害物となりました。貧困と更に病魔(白血病)との戦いの中、最晩年にこの曲が大成功を収めたのです。

1945年に没しましたが、21世紀に入ってからバルトークが再評価されました。音楽的な角度から分解や並べ替えをし、近代的な手法で再構築、発展した音楽は、生命力に富んだ作品となって人々の心に響きます。

青山シンフォニーオーケストラ

青山シンフォニーオーケストラは、現在、約70名の団員で構成され、年1回の定期演奏会を中心とした活動を行っています。27年前に第1回目の演奏会を開催して以降、年1回の演奏会を大切にしたい練習を企画し、合奏を楽しみながら皆でクラシック音楽の追及に励んでいます。青山学院管弦楽団のOBにより創立されましたが、1993年より市民オーケストラの青山シンフォニーオーケストラとし、現在は幅広い団員構成の中で活動を継続しています。創立当初より、汐澤安彦先生に指導と指揮を頂いています。

指揮者 汐澤 安彦 [プロフィール]

東京芸術大学器楽科卒業、同専攻科修了。トロンボーンを山本正人、指揮を金子 登の各氏に師事。当初、バストロンボーン奏者として読売日本交響楽団に在団、傍ら桐朋学園において斎藤秀雄氏より指揮法を学ぶ。1973年、民音指揮コンクール(現・東京国際音楽コンクール指揮部門)第2位。1975年、渡欧。ベルリン音楽大学、カラヤンアカデミーに学ぶ。帰国後、オーケストラ、吹奏楽、オペラ、合唱の各界で活躍。これまで、東京佼成ウインドオーケストラ、二期会合唱団、東京吹奏楽団など、各常任指揮者を歴任。また、東京音楽大学シンフォニックウインドアンサンブル指揮者として永年、その任にあった。1999年、日本吹奏楽学会/第9回日本吹奏楽アカデミー賞(演奏部門)受賞。東京吹奏楽団名誉指揮者。東京音楽大学名誉教授。青山シンフォニーオーケストラ常任指揮者。

Yasubiko Shiozawa



始めましょう、安らぎの住まい造り

株式会社ウィズホーム

代表取締役 星野 秀樹

横浜市西区北幸2-5-17 横浜NSビル2階

TEL.045-323-3051 <http://www.withhome.info>

問い合わせ info@withhome.info